

高次脳機能障害者の地域生活 に対するトータルサポート ～当施設の取組を通して～

いきいき福祉ネットワークセンター
駒井 由起子

2013.10.4 国立身体障害者リハビリテーションセンター

障害がある人もない人も・・・

地域で自分らしく生活すること

制度を利用
できない

地域に
居場所がない

閉じこもって
しまう

制度の狭間にある人を支援する

高次脳機能障害

若年性認知症



いきいき福祉ネットワークセンターの理念

調査研究

実態調査・
マニュアル

実践

相談支援
通所支援
家族支援

教育・啓発

講座・研修会
事例検討
連絡会

高次脳機能障害支援に対する 関係者の意見

- 診断を受けていない 本人・家族ともに理解していない、伝えても理解しない
- 高齢者でも対応困難で居場所がない
- 若い年齢層が馴染める資源が少ない
- 退院後の継続した支援が受けられない
- 介護保険では利用しにくい
- 身体障害がないと認定が軽くなる、どこにもつながらない
- 制度の谷間にある

当事者の問題・社会資源の問題・制度の問題

地域の中で高次脳機能障害者に 必要な支援

- 気軽に相談ができる
- 知識を得ることができる
- 支援方法を学ぶことができる
- 地域で支える仕組みがある
- 家族の疲労ストレスを解消する機会がある
- 閉じこもらずに毎日所属する居場所がある

相談
センター

地域
ネット
ワーク

家族会
支援

通所
施設

相談支援について

- 対象者・関係者からの相談を受ける

必要な制度・サービス利用へつなぐ
電話対応だけでなく関係機関へ付き添う
(医療機関への紹介、同行など含む)

つなぐ

つき
そう

より
そう

つくる

- 寄添う⇒相談者へのケアを行う
- つくる⇒相談のシステムをつくる
(関係機関との役割分担など)

高次脳機能障害に対する
コーディネーター的役割

つきそう・よりそう＝

つきそいながら
よりそう

収入がないの
でどうしよう

障害年金の手続きに
行ってみましょう

忘れ物が多くて
困っています

ご自宅に訪問しますので
忘れない方法を一緒に
考えましょう



病気はよくなっ
たので一般就
労したい

障害者就労支援施設
を一緒に探しましょう

家族が疲れ
てしまった

同じ障害の家族に対処
のアドバイスを聞きましょう

高次脳機能障害支援者ネットワーク

つなぐ

個別ケースの連携

センター
相談支援員

保健師

行政ケース
ワーカー

就労支援
センター
支援員

連絡会

主催：目黒区高次脳機能障害支援センター

障害
福祉
担当

介護
保険
担当

精神保健
福祉担当

医療
機関
担当

家族
会

障害
福祉
施設

介護保
険施設

精神保
健福祉
施設

就労
支援
担当

高次脳機能障害の家族支援

よりそう

目黒区高次脳機能障害者家族会

- 定例会 2か月に1回
- 近況報告
- 情報交換
- 通信誌発行

家族同士の交流を見守る
様々な支援者とつながり
できないところを手伝う

目黒区高次脳機能障害者家族会つうしん



—創刊号発行！に向けて—

家族会代表 濱出昌子

「高次脳機能障害」一般にはまだまだ知られていない障害名です。
交通事故や、脳卒中、疾病など様々な要因から、脳に損傷を負った後に現れてくる機能障
高度医療の発達のおかげで、助かった命です！ところが、物理的には治ったはずなの
行動や症状（裏面Q&Aをご参照ください）が現れる場合があります。

◆ URL <http://www5.hp-ez.com/hp/megurokoujinou/page1>

高次脳機能障害と若年性認知症のためデイサービス いきいき*がくだい

設立年数

- 8年目(2006年開設)

事業形態

- 介護保険制度 通所介護事業所

対象者

- 40歳から65歳位までの脳卒中後遺症による高次脳機能障害または認知症のある方

定員

- 1日10人(2013.6現在 登録者39名)

職員

- 定員10人に対して5人(看護師・社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士・介護士)
- ※基準は2人(社会福祉士・介護士)

時間

- 月～金 10:00～16:00